

船舶事故調査報告書

平成26年7月3日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成25年5月4日 10時00分ごろ～13時30分ごろの間）
発生場所	不明（北海道石狩市厚田漁港～石狩市厚田区安瀬 ^{やすけ} 3番地海岸沖100m付近の間）
事故調査の経過	<p>平成25年5月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。</p>
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	<p>漁船 第三十八^{こうえい}幸栄丸、1.6トン</p> <p>HK3-90764（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>8.26m(Lr)×2.14m×0.89m、FRP</p> <p>ガソリン機関2基、110kW（合計、動力漁船登録票による）、昭和60年12月12日</p>
乗組員等に関する情報	<p>船長 男性 77歳</p> <p>一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>免許登録日 昭和50年9月5日</p> <p>免許証交付日 平成21年12月15日</p> <p style="text-align: right;">（平成27年2月24日まで有効）</p>
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、ひらつめかに籠漁のため、平成25年5月4日10時00分ごろ厚田漁港を出港し、13時30分ごろ、石狩市厚田区安瀬3番地海岸沖100m付近の海上において、無人で漂泊しているところを、近所の住民に発見され、発見者の家族が海上保安部に通報した。</p> <p>本船は、僚船乗組員が操船し、14時00分ごろ厚田漁港に入港した。</p> <p>船長は、14時10分ごろ、本船発見場所付近の安瀬海岸において、消波ブロックの間に挟まった状態で発見され、医師により、溺水で死亡したことが確認された。</p>
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 2、視界 良好

	海象：海上 平穏
その他の事項	<p>本船は、機関が運転され、クラッチが中立の状態であり、かに籠のロープが海中に入っていた。</p> <p>本船は、船内に餌付きのかに籠が残されていた。</p> <p>船長の作業用合羽及び救命胴衣は、船長の発見場所付近で発見された。</p> <p>船長は、携帯電話を所持していなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、10時00分ごろ厚田漁港を出港した後、13時30分ごろ、厚田区安瀬3番地海岸沖において、無人で漂泊しているところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が厚田漁港を出港した後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁船に1人で乗り組み、出漁する際は、防水型携帯電話を携行するなどして連絡手段を確保することが望ましい。